

生徒活動支援委員会

～ 生徒の活動を支援 ～
(部活動やボランティア活動など)

- **活動方針**・・・参加するすべての人たちが楽しみながら活動する！

- **活動内容**（地域協育会の事業計画より）

5. すぐれた芸術にふれて豊かな心を育てよう

7. 地域と連携したスポーツクラブを立ち上げよう

8. 文化ギャラリーをつくろう など

→ **実際に委員会活動ができておりません**

申し訳ありません

● **生徒活動報告**（生徒の自主活動）

（1）部活動

- 部活動の活性化として、木曜日7限目を1年生必修クラブとしました。1年生の文化部員の増加に対し運動部員は前年度並みの活動者数でした。
- 本年度もいくつかの同好会を新設し、少しずつですが生徒の活動の場が広がっています。
- **近畿大会出場**・・・陸上競技部・農業クラブ
・書道部・少林寺拳法部
- **全国大会出場**・・・農業クラブ

- **生徒活動報告**（生徒の自主活動）

- (2) ボランティア活動**

- たちばな支援学校『ボランティア講座』

- 3名の生徒が参加しました。

- みはま支援学校『ボランティア教室』

- 1名の生徒が参加しました。

- ふれあい夏まつり

- 5名の生徒が参加しました。

- 高校生読み語りボランティア（計画中）

● 生徒活動報告 (生徒の自主活動)

(2) ボランティア活動

○ 日高川町災害復旧ボランティア 41名の生徒が参加しました。



わかやま

教える 育む 学び合う

有田川町下津野の県立有田中央高校(清水博行校長、416人)は08年、「ハイスクール防災講座」を始めた。地震や津波の発生メカニズムから、英語で防災を呼びかけるポスター製作などの啓発活動まで幅広く学ぶ授業で、今年も総合コースの3年生88人が受講する。卒業生の多くが地元企業に就職する同校は、地域の防災リーダーの育成を目指している。

年間計16時間で、総合学習の時間を利用して、教員は6科目に分かれてそれぞれの専門分野を教えるため、授業を準備する際の負担感が少ない。異動があっても、着任する教員に指導を引き継ぎやすいという。

講座では、災害時にかを記入した「避難カード」や、防災についての日常の心構えなど

「防災講座」でリーダー育成



ボランティアに参加し、甘夏畑の泥をかき出す生徒たち＝日高川町松瀬で

を書いた防災カルタなどを作成し、生徒の防災意識を高めていく。カルタなどは、周

意識高め 地域啓発に貢献

県立有田中央高校

辺の住民が参加する品評会・文化祭で講師を務める出前授業にも挑戦し、地域全体の啓発活動にも取り組んでいる。清水校長は「受講した生徒に講座の感想を尋ねた調査では、一番の大切さが分かった。地震に備え、将来を生き残るために」と評価する内容が、お題を超えたという。一方、台風12号を受け、生徒が「何かをし

たい」とボランティア活動を提案。生徒約40人が今月6日、日高川町の甘夏畑で泥をかき出す作業などに汗を流した。清水校長は「みんなで大勢の生徒が集まるとは思わなかった。ボランティアの経験は、授業以上に価値があったと話す。

同校は今後、全校生徒を対象にした講座を計画。卒業までの3年間を通じ、防災について学ぶ授業などを検討しているという。

【川畑展之】

● 生徒活動報告（生徒の自主活動）

（3）その他の活動

○ 11/3の『高校生フォーラム』に多くの生徒が参加しました。



- **生徒活動報告**（生徒の自主活動）

- （3）その他の活動

- 11/20の『第105回品評会・文化祭』では日頃の成果発表とともに、多くの生徒がサポーターとして活躍しました。



- **生徒活動報告**（生徒の自主活動）

（3）その他の活動

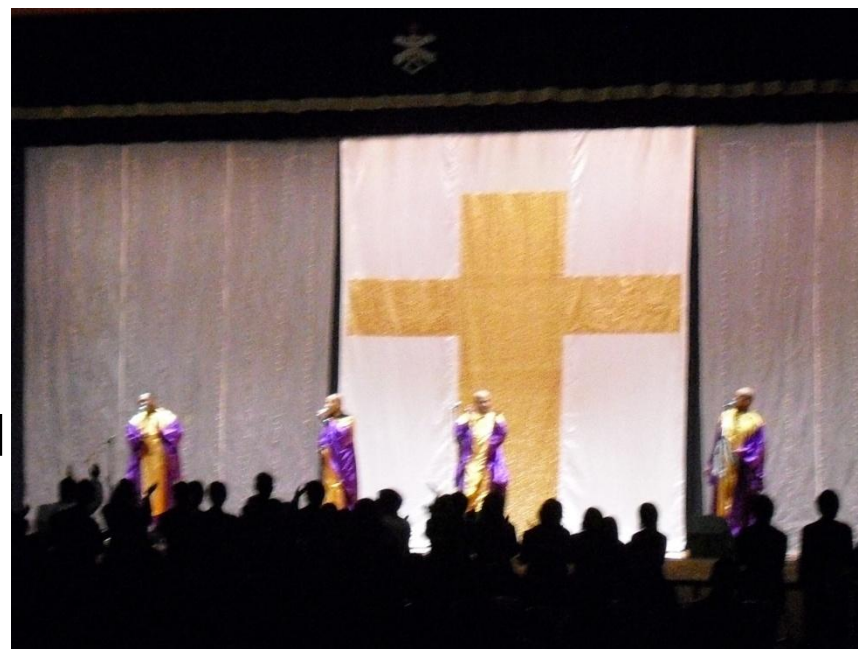
○ 12/14に

芸術鑑賞

『ゴスペルスーパーライブ』

をおこないました。

○学校HPを通じて情報発信していきます。



今後ともよろしくお願いいたします